

令和4年11月24日

瀬戸内市議会議長

廣田 均 様

瀬戸内市議会議員 秦井 誠司

### 政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期 間	令和4年 11月 1日 ~ 令和4年 11月 2日
研修会名	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 令和4年度 市町村議会議員研修 「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」
開催場所	全国市町村国際文化研修所
研修目的・ 内容	目的①；議会改革を進めるにあたっての基本的な事項(地方自治の現状、国の法制度の変化、人口減少による地域の変化など)について学ぶ。 目的②；議会への住民参加、情報公開に関して、先進事例の紹介を聞き、意見交換等を通じて理解を深める。 目的③；ダイアログ(自分の意見を伝え、相手の考えを理解し、互いに協力して解決策を導くためのコミュニケーションの方法)を用いた演習を体験し、会議や議員間討議の進め方を学ぶ。  講義 「議会改革度調査」から見る地方議会、講師 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏 早稲田大学マニフェスト研究所において実施された「議会改革度調査」から見る先進議会の議会改革事例について、議会基本条例のあり方、作り方、改正や検証方法等も含めて、解説があった。  事例紹介・演習 住民参加・情報公開を進める取組 1、演者 徳島県那賀町議会議員・議会改革特別委員会 委員長 柏木 岳 氏、コーディネーター:早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏



	<p>「車座会議」と銘打つリピーターが増える議会意見交換会や、若者の生の声を拾う新成人へのアンケート等住民参加の新たな手法、「情報公開」の発展形である「情報拡散」の考え方とその実例、不信感のレッテルを貼られた政務活動費に代わる、頑張る議員に手当てする手法など、目からうろこの議会改革のナマ情報をお話しいただいた後、質疑応答を通して理解を深めた。</p> <p>事例紹介・演習 住民参加・情報公開を進める取組 2、演者 茨城県取手市議会事務局 次長 岩崎 弘宜 氏、コーディネーター:早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏 デモテック戦略(デモクラシー×テクノロジー)によるデジタル技術の活用や議事録視覚化システム、市民リライターの試行等、住民参加・情報公開を進める取組について、改革の経緯や現状、取組を始めたことによる効果や今後の展開等についてお話しいただいた後、質疑応答を通して理解を深めた。</p> <p>講義・質疑応答 DX 時代における地方議会の展望、講師 早稲田大学名誉教授 北川 正恭 氏 地方自治を取り巻く現状を解説いただき、そのなかで議会や議員に求められている役割やあり方についてお話しいただいた。また、現在全国で進められている議会改革の動向についてもご紹介いただいた。</p> <p>演習 各議会における今後の議会改革推進の検討、演者 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏 効率的な会議の行い方について学ぶために、「議会広報を考える」をテーマに、ダイアログ(対話)の手法を用いた演習を体験し、どのように議員間討議を行うか、どのような手法を用いれば会議の成果が挙がるかを学んだ。</p>
<p>所 感</p>	<p>講義 「議会改革度調査」から見る地方議会、について。 徳島県西尾市長を二期務められた経験談や多くの自治体行政と議会のアドバイザーをされている経験から、とても幅広い有意義な内容を聴講することができた。 中でも、長野県高森町役場の事例では子育て政策を単独部局ではなく横断的関わりに広げたことでの活性化につながったことなど紹介いただいた。このように当市でも、市民と行政のかかわりを議会から発信できることはないのかと考えさせられた。</p> <p>事例紹介・演習 住民参加・情報公開を進める取組 1、について。</p>

演者の徳島県那賀町議会は議会改革ランキングでの上位の常連である。ここの議会の特徴には議会改革特別委員会を設置したり、議員間自由討議を導入し、議論することで合意形成に努めたり、議員発議で政策立案し条例を制定させたりなど、町民のための政治を進めている様子が紹介された。能動的な活動において、大変参考になるとともに感心させられた。事例を参考にしながら、当市でも採用できそうなものは提案したい。

事例紹介・演習 住民参加・情報公開を進める取組 2、について。  
議会事務局の立場からの事例紹介であった。ICT・AIなどの技術を用いて情報公開を進めることで、よりよい住民の参加を促すという内容であった。中でも委員会に360度カメラを導入することで、どの議員がどんなことを話したのかが分かるような公開を進める事例紹介があった。今後の情報公開の透明性を上げることで、市民意識を高める好事例であると感じた。動画編集などの技術や労力があるが、前向きに検討したい。

講義・質疑応答 DX時代における地方議会の展望、について。  
今回の講演の中で、執行部優位から、議会との二代表制へと意識改革を進める必要性を説かれた。また、議会は民意を反映する機関であり、執行部とは対等であるべきと述べられた。このことを受けて、今後はさらに民意を反映させやすい議会を追求し、市民の代表であることを肝に銘じながら議会活動を進めていこうと、改めて決意することができた。

演習 各議会における今後の議会改革推進の検討、について。  
この時間は他市町の議員と議論することで、他市町における状況を知ることができた。それぞれに個別の問題や課題があるものだと改めて感じた。また反面、共通する悩みもあり、どの市町も改革推進派と改革慎重派との対立～意見調整に難しさを感じた。  
議会改革や市政改革の成功例に共通することとして、長が中心となっているところが多いように感じられ、長の理解は必要不可欠だと感じた。

以上、今回の研修を通じて更なる議会改革に着手し、市民のための市政であり続けるよう精進していきます。